LRQA独立保証声明書

KDDI 株式会社のサステナビリティレポート 2024 に掲載される 2022 年度環境データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいて KDDI 株式会社に対して作成されたものである。

保証業務の条件

LRQA は、KDDI 株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、サステナビリティレポート 2024 に掲載される 2022 年度（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）の環境データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE3000 (Revised) 及び温室効果ガス（GHG）排出量については ISO14064-3:2019 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、会社とその国内外連結対象子会社における運営及び活動[1]に対して、以下の要求事項を対象とする。

- 以下の選択されたデータに対して、会社の定める報告手順への適合性の検証
- 以下の選択された環境データの正確性、信頼性の評価[2] [3]
  - スコープ 1 GHG 排出量（tCO_2）[4]
  - スコープ 2 GHG 排出量（マーケットベースおよびロケーションベース）（tCO_2）
  - エネルギー使用量（MWh）
  - 水使用量（m^3）
  - 廃棄物処理量（トン）

保証業務の範囲は、報告書に言及されている上記に明示した以外の組織のサプライヤー、業務委託先、その他第三者のデータおよび情報を除く。

LRQA の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

LRQA の意見

LRQA の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 正確で信用できる環境データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準[5]、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

---

[1] *バウンダリは KDDI グループの国内外連結子会社 99 社である。*

[2] *サステナビリティレポート 2024 において✓マークを付した環境データについて限定的保証業務を行った。*

[3] *GHG の定量化は固有の不確かさが前提となる。*

[4] *スコープ 1 排出量はエネルギー起源 CO_2 のみを対象とする。*

[5] *限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。*

保証手続

LRQA の保証業務は、ISAE3000 (Revised) 及び GHG 排出量については ISO14064-3:2019 に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の脱漏及び誤表記が無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRQA は、内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプリング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 集計された 2022 年度の環境データ並びに記録の検証を行った。
- 株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス、および山口技術保守センターに対するデータマネジメントシステムの有効性の確認は、電子メール、WEB 会議システムを使用したリモート検証により実施した。

観察事項

保証業務における観察事項は以下の通りである。
会社は、継続して GHG 排出量の完全性、正確性、信頼性を維持・向上することが期待される。特に、連結対象子会社のデータ管理を向上させ、データの正確性と信頼性を向上させることが期待される。

基準、適格性及び独立性

LRQAはISO14065“温室効果ガスー認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項”、ISO17021-1 “適合性評価ーマネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項 – 第1部：要求事項”に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRQAは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRQAが会社に対して実施した業務はこの検証のみであり、それ自体が我々の独立性あるいは中立性を損なうものではない。

署名　　2024 年 3 月 20 日

由岐中 一順
主任検証人
LRQA リミテッド
神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1　クイーンズタワーA 10F
LRQA reference: YKA4005450

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.
The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2024.